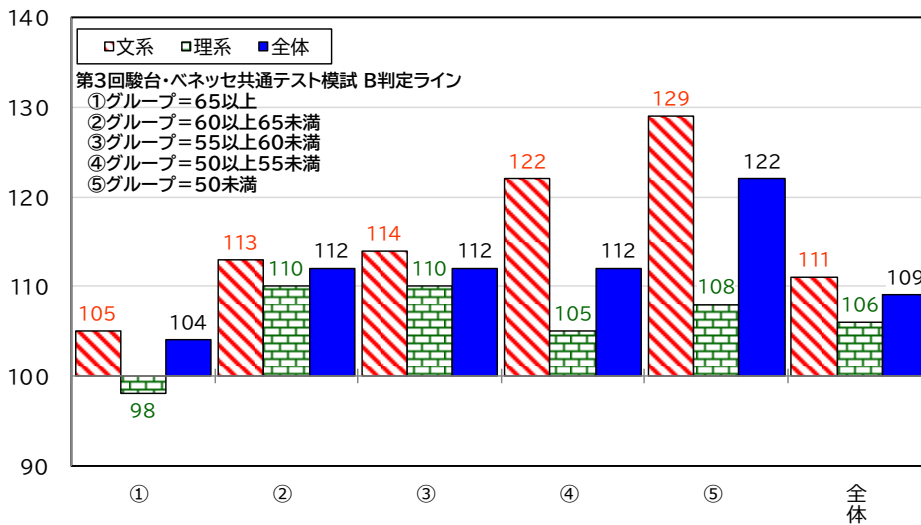


※本文中の( )内の数値は、志願者数の前年度対比指数を示します。

## ◎模試合格判定ライングループ別志願状況

### □文系、理系とも中下位グループでの増加が目立つ



左のグラフは、私立大187大学の一般選抜の志願者数集計において、2025年度第3回駿台・ベネッセ共通テスト模試の合格判定ライン(B判定ライン)を基にして、学部単位(医学科は別集計)で5つのグループ(上位①グループ~下位⑤グループ)に分類し、各グループの志願者数合計の前年度対比指数を示したものです。

文理別の全体では、文系(111)は増加、理系(106)はやや増加です。

グループ別では、文系は、⑤グループ(129)、④グループ(122)はいずれも大幅増加、③グループ(114)、②グループ(113)は増加、①グループ(105)はやや増加となっています。

理系は、②グループ(110)、③グループ(110)、⑤グループ(108)はいずれも増加、④グループ(105)はやや増加です。一方で、①グループ(98)は微減となっています。

文系理系とも、②グループ以下では併願受験費用の軽減や1回の出願で2方式に登録されるセット出願といった選抜方式を導入した大学がグループの増加に影響を及ぼしています。